

こんにちは No.37 魚沼市議会 です



小出スキー場



定例会・市長行政報告 2ページ
議案賛否の状況 3ページ
選挙第1号について・補正予算・
議会構成・新人議員紹介 4ページ
一般質問 5～11ページ
常任・特別委員会報告 12～15ページ
市民の声・あとかぎ 16ページ

発行責任者 議長 佐藤 守 広報委員長 本田 篤 副委員長 高野 甲子雄
委員 渡辺 一美 関矢 孝夫 星野 武男 大屋 角政



新年あいさつ 議長 佐藤 守

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまが、元気で健やかに新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、長引く景気の低迷で厳しい経済状況、社会情勢の下、10月に新潟県知事選挙、年末には魚沼市長選挙及び議会議員補欠選挙、衆議院解散総選挙と、選挙の年でありました。

国政では自公連立政権が復活し安倍内閣が誕生しました。経済対策を最優先に、景気の回復と国政の安定を図り、地方自治振興と地方経済の活性化に期待を致します。

さて、「魚沼市」誕生以来、早くも8年余り経過し、合併特例期間（10年間）も余すところ2年弱となりました。合併メリットを最大限活かし、明日の魚沼市建設のために、議会としても誠心誠意努力をしまいいりたいと意を新たにしているところであります。

厳しい社会情勢ではありますが、勤勉で粘り強い魚沼市民、夢と希望を持って皆で英知を結集し、市民総参加で安全で安心して住める、明るく豊かな魚沼市を築こうではありませんか。

市民皆さまのますますのご健勝とご多幸、そして魚沼市の更なる発展を心からご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

第4回定例会報告

平成24年第4回（12月）定例会は、12月13日から1月8日までの27日間の会期で開催されました。

今定例会では、12月の市議補選で当選した3人を含めた議席の指定、議会改革調査特別委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。議案では、専決処分の承認2件、小中学校の耐震化工事費、議場への国旗・市旗掲揚経費などを含む平成24年度一般会計補正予算（第6号）及び国保特別会計、病院事業会計、水道事業会計の補正予算を審議し、地区集会所施設条例の一部改正など条例9件、指定管理者の指定6件、市道路線の認定などその他4件、請願2件を各常任委員会に付託のうえ審議しました。また、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行いました。

最終日には、人事案件としての副市長の選任で現職の中川太一氏が、教育委員会委員の任命で、高橋美穂氏が提案され、それぞれ同意しました。また、議会関係条例の改正等の発議3件、議会議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議についての発議、請願採択を受けて2件の意見書提出など計6件の発議を審議し、可決しました。

12月25日、26日に行われた一般質問では、再選された大平市長の所信を問う質問など14人の議員が登壇しました。

※議案賛否の結果は3ページをご参照ください。

主な市長行政報告

平成24年第2回臨時会11月12日報告分

●原発事故時の放射性物質拡散シミュレーションに対する魚沼市の基本的な考え方について

原子力規制委員会による10月24日の発表及び同月29日の一部訂正については、どちらも事前説明がなく、遺憾に感じている。本市としては、緊急時防護措置区域並みの防災計画を策定する方向で検討を進めていく予定である。

●レジオネラ属菌について

11月7日夕方、指定管理施設「薬師温泉センター」において、浴槽水からレジオネラ属菌が検出されたと報告があった。当該施設では、浴槽の清掃及び消毒を実施し、再検査で陰性となり安全が確認されるまで休館対応とするよう小出保健所より指導をいただいた。再検査の結果、レジオネラ属菌が検出されなかったことから、11月8日15時から再開した。

●子育てビジョン及び行動計画の案について

子育てを取り巻く状況は、虐待やニート・ひきこもり等をはじめ、様々の課題がある。今後、市民の皆さんと対話しながら、成案にしていきたいと考えている。

平成24年第4回定例会12月13日報告分

●住民訴訟の判決について

前監査委員2名に慰謝料及び弁護士費用の返還を求めていた住民訴訟の控訴審が11月15日東京高等裁判所で行われ、「本件控訴を棄却する」旨の判決があった。

●放射性物質の拡散シミュレーションの住民説明会について

11月21日に魚沼市地域振興センターにおいて、放射性物質の拡散シミュレーションの住民説明会を開催し、原子力規制庁より連合自治会長と囑託員の方々へ説明をいただいた。

●湯之谷駐在所の新築について

湯之谷駐在所が、大湯温泉から湯之谷芋川地区に移転、新築され、12月6日、同駐在所で開所式が挙行された。

●大雪警戒本部の設置について

大雪災害に対応するため、12月11日午前9時、魚沼市大雪警戒本部を設置した。現在、本部では、警戒体制に万全を期すとともに、大雪による被害の状況を取りまとめている。なお、同本部は平成24年12月19日午後5時に解散した。

●平成25年度予算編成方針について

新年度の予算編成について、総合計画の後期計画を基本として、現在、各課要求及び事務段階のヒアリングを行っている。

●北朝鮮のミサイル発射について

12月10日以降、全国瞬時警報システムなどによる情報収集とともに待機態勢を確保しながら、危機に備えてきた。しかし、周辺国の再三にわたる警告を無視し、ミサイル発射を強行したことは極めて遺憾である。

第4回定例会議案等

◎=全会一致、○=賛成多数で可決・承認・採択・同意・適任、×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付 議 事 件	議決結果
予 算	議案第115号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度魚沼市一般会計補正予算（第5号））	◎
	議案第117号 平成24年度魚沼市一般会計補正予算（第6号）	○
	議案第118号 平成24年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	◎
	議案第119号 平成24年度魚沼市病院事業会計補正予算（第1号）	◎
	議案第120号 平成24年度魚沼市水道事業会計補正予算（第2号）	◎
条 例 等	議案第116号 専決処分の承認を求めることについて（魚沼市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例及び魚沼市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について）	◎
	議案第121号 魚沼市地区集会施設条例の一部改正について	◎
	議案第122号 魚沼市暴力団排除条例の一部改正について	◎
	議案第123号 魚沼市診療所条例の一部改正について	◎
	議案第124号 魚沼市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	◎
	議案第125号 魚沼市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	◎
	議案第126号 魚沼市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する基準を定める条例の制定について	◎
	議案第127号 魚沼市ガス供給条例の一部を改正する条例の一部改正について	◎
	議案第128号 魚沼市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	◎
議案第129号 魚沼市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について	◎	
そ の 他	議案第114号 指定管理者の指定について（小出スキー場／有限会社モダンアート社） ※平成24年11月12日 第2回臨時会議案	◎
	議案第130号 字の変更について（一日市地区）	◎
	議案第131号 市有財産の処分について（竜光区民会館）	◎
	議案第132号 魚沼市道路線の認定について（浦佐バイパス側道1号線及び2号線）	◎
	議案第133号 損害賠償の額を定めることについて	◎
	議案第134号 指定管理者の指定について（堀之内体育館／エンジョイSC・魚沼体協・山崎共同企業体）	◎
	議案第135号 指定管理者の指定について（魚沼市堀之内老人憩の家／NPO法人合歡の会）	◎
	議案第136号 指定管理者の指定について（魚沼市広神老人福祉センター／社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会）	◎
	議案第137号 指定管理者の指定について（魚沼市斎場及び魚沼市入広瀬火葬場／株式会社アロンクリーン）	◎
	議案第138号 指定管理者の指定について（浅草山荘／特定非営利法人入広瀬元氣クラブ）	◎
議案第139号 指定管理者の指定について（月岡公園／株式会社ほりのうち）	◎	
選 挙	選挙第1号 魚沼市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について ※委員については4ページをご参照下さい	◎
同 意	同意第1号 副市長の選任について（原虫野 中川太一 氏）	◎
	同意第2号 教育委員会委員の任命について（小平尾 高橋美穂 氏）	◎
請 願	請願第9号 郵便局の効率化施策に関する請願書	◎
	請願第10号 直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する請願書	◎
	請願第11号 魚沼市職員給与の改定を求める請願書	継続審査
発 議	発議第1号 魚沼市議会委員会条例の一部改正について	◎
	発議第2号 魚沼市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について	◎
	発議第3号 魚沼市議会会議規則の一部改正について	◎
	発議第4号 魚沼市議会議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議について	○
	発議第5号 郵便局の効率化施策に関する意見書の提出について	◎
	発議第6号 直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書の提出について	◎

議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載 ○=賛成 ●=反対・態度保留・棄権等 --=欠席、除斥（※議長は議案議決に加わりません。）

議案番号等	議決結果	合 計		魚 沼 ク ラ ブ							21 ク ラ ブ				七 日 会				日本共産党		新世紀クラブ		会派なし					
		賛成	反対	岡部 忠好	志田 貢	佐藤 敏雄	遠藤 徳一	星野 武男	下村 浩延	本田 篤	大塚フミ子	関矢 孝夫	渡辺 一美	佐藤 雅一	佐藤 雅一	高野甲子雄	星 吉寛	森山 英敏	五十嵐昭夫	榎本 春実	浅井 守雄	星 謙一		住安 孝夫	大屋 角政	岡部 計夫	星 孝司	佐藤 守
議案第117号	可 決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	※
発議第4号	原案可決	17	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	※	

選挙第1号について

魚沼市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

魚沼市選挙管理委員会委員	
氏名	住所
田中敬一郎	魚沼市大石
貝瀬直子	魚沼市小出島
櫻井ヨリ子	魚沼市井口新田
高橋富榮	魚沼市小平尾

魚沼市選挙管理委員会委員補充員	
氏名	住所
内山利助	魚沼市須原
浅井忠一	魚沼市大栃山
瀧澤政和	魚沼市原
渡辺あや子	魚沼市中原

平成24年第4回定例会補正予算

単位：千円

会計名		補正前の額	補正額	計	主な内容	
平成24年度一般会計(第5号)(専決処分)		26,462,500	25,200	26,487,700	・衆議院議員総選挙費、住民訴訟弁護業務委託料	
平成24年度一般会計(第6号)		26,487,700	816,200	27,303,900	・国の学校施設耐震化及び大規模改修事業の前倒し実施、農地農業用施設災害復旧事業費の追加など	
特別会計	国民健康保険(第3号)	事業勘定	4,582,000	4,000	4,586,000	・出産育児一時金の増額など
		直営診療所施設勘定	269,200	3,900	273,100	・診療実績に伴う入広瀬診療所医科衛生機材事業の医薬材料費の追加
企業会計	病院事業(第1号)	資本的収入	80,000	0	80,000	・新病院事業に係る財源の組替
	水道事業(第2号)	簡易水道事業 資本的支出	394,000	300	394,300	・国庫補助金返還金の追加

議会構成

◎ 委員長 ○ 副委員長 ※議長は委員会に所属しません。

委員会名		人数	委員			
常任委員会	総務文教委員会	7人	◎ 住安 孝夫	○ 星野 武男	遠藤 徳一	佐藤 肇
			高野甲子雄	榎本 春実	星 謙一	
	福祉環境委員会	8人	◎ 大塚フミ子	○ 大屋 角政	志田 貢	渡辺 一美
議会運営委員会	産業建設委員会	8人	◎ 森山 英敏	○ 星 吉寛	佐藤 敏雄	岡部 計夫
			佐藤 雅一	下村 浩延	本田 篤	浅井 守雄
		9人	◎ 佐藤 雅一	○ 岡部 忠好	岡部 計夫	関矢 孝夫
地域医療対策調査特別委員会		12人	◎ 森山 英敏	住安 孝夫	大塚フミ子	大屋 角政
			◎ 岡部 忠好	○ 佐藤 肇	佐藤 敏雄	星野 武男
			高野甲子雄	下村 浩延	森山 英敏	五十嵐昭夫
庁舎再編整備調査特別委員会		11人	◎ 住安 孝夫	○ 大屋 角政	浅井 守雄	星 孝司
			◎ 関矢 孝夫	○ 大屋 角政	志田 貢	岡部 計夫
			遠藤 徳一	渡辺 一美	佐藤 雅一	星 吉寛
			本田 篤	榎本 春実	星 謙一	

※このほかに、「復興基金事業調査特別委員会」及び「議会改革調査特別委員会」に議長を除く全議員が所属しています。

魚沼市青島
2期
岡部 計夫
(おかべ かずお)



魚沼市田中
1期
佐藤 敏雄
(さとう としお)



魚沼市大倉沢
1期
志田 貢
(しだ みつぐ)



新人議員の紹介

大平市政2期目の決意は



本田 篤 議員

【答】 優先すべき行政課題にしっかりと取り組んでいく

問 種まきの4年間から、きれいな花を咲かせる4年間になるだろう。大平市政2期目の方向性を問う。

滞気味である。1年の遅延は、10年の衰退を早めると考える。市長の認識を問う。

答 「持続可能な地域医療体制の確立」「産業の発展と雇用の場の推進」「教育力の強化」「いきいきと暮らし続ける地域づくり」など、優先すべき行政課題には、今更以上にしつかりと取り組んでいかなければならない。また、行政改革の推進については、将来負担を次の世代に残さないためにも勇気をもって、積極果敢に取り組んでいきたい。

答 守門・入広瀬地域の総合的な支援を目的として、今年度から守門庁舎に北部振興事務所を設置し、地域の振興に向けた取り組みを進めている。合併以前の歴史文化や地域特性等を踏まえたうえで、均衡あるまちづくりと地域の一体感を推進するため、公共施設の再配置や集約化などを含めて、関係地域の皆さまと協議の場を持つ必要があると考えている。地域審議会の存続期間を見据え、対応していきたい。

が必要となる。将来、エネルギーの確保に、地方の自治体が奔走するときがくる。そして、試掘権の確保こそが、資源確保の第一歩であると考えている。当市の試掘権を自治体で確保してみようか。

問 守門地区に焦点を

試掘権の確保を

答 試掘権や採掘権といった鉱業権は、鉱業法の規定により国から賦与され、当面の開発意欲のない者や単に権利を確保しようという者には鉱業権は賦与されない。このような法令上の規制を受けるため、地方自治体等が資源確保を目的として試掘権を取得することは、現状では困難であると考ええる。

問 まちづくりにはサテライト的な地域の形成が重要だ。しかし、この地域のまちづくりは、停

問 地下資源の掘削には、前段で試掘の必要があり、試掘権という権利

市長の市政運営について問う



岡部 計夫 議員

【答】 対話による相互理解と情報の発信に一層努める

市長の市政への取り組みについて「決意」と、2期目の重点施策は何か、具体的に示せ

問 半数以上の議員の理解が得られていないが、議会との協力関係について、どのように取り組んでいくのか。また、訴訟問題や職員の不祥事で、市民の信頼を失ってきたが、今後、信頼回復に向けてどう取り組んでいくのか。

戻すことは容易ではない。職員の不祥事等については、特に公金を扱う施設等においては新たに公金の取り扱いについて細かなマニュアルを作り指導している。

答 住宅リフォーム支援事業については、市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化と個人住宅の質の向上を目的として、平成23年度から実施している。

答 議会との協力関係については、対話と相互理解を基本として、引き続き温かいご支援、ご協力を賜うようお願いしたい。また、市民の信頼回復に向けた取り組みについては、失った信頼を取り

また、職員の倫理意識の向上を図るための研修の開催や、職員自ら意識改革に更に努めていくための行動計画を整備し、職員を指導しているところである。今後もこの取り組みを続けながら、市民の皆さま方からの信頼回復に向けて地道に努力を続けていく。

また、住宅リフォーム支援事業は、そのす野の広さから地域経済の活性化には一定の効果があるものと考えている。

問 平成25年度予算化を検討しているか。そし

住宅リフォームの助成金支給事業について

住宅リフォームの助成金支給事業について

一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

教育力の強化の具体策を問う



関矢 孝夫 議員

【答】 地域ぐるみで教育の向上をめざす

【問】 当市は著しい人口減少と加速度を増す少子高齢化が深刻な課題となっている。

合併特例措置の段階的縮減に伴う一般財源の急激な減少を前に、適正な事業費規模への移行を促進するため、平成25年度以降は毎年度、一般財源で年4億円相当の事業縮減を実施するものとして

【答】 1 教育力の強化について

【答】 現在、教育委員会を中心に進めている「魚沼市子育てビジョン」の

策定は、行政だけでなく、学校・園、家庭、地域社会が連携して子育てに携わることの大切さなど、

【問】 2 産業の発展と雇用の場の確保について

【答】 引き続き水の郷工業団地への優良企業の誘致活動、工場等の施設や設備の新増設への支援に

【答】 平成23年度から2年間にわたって「高齢化地域対策モデル事業」を

【答】 平成23年度から2年間にわたって「高齢化地域対策モデル事業」を

自治意識の醸成と地域内循環型経済への転換を



高野甲子雄 議員

【答】 コミュニティ協議会の活動に期待している

【問】 市の活性化には行政、議会を含めた市民全体の「自治意識のさらなる醸成」と「地域内循環型経済への転換」がポイント

【答】 自治意識の向上については、コミュニティ協議会の設立や活動への支援を通して、市民の自治に対する意識の高まり

【問】 過疎対策、雪害対策を雇用対策に生かすモデル事業の具体化を図れ。

【問】 現在の流雪溝は農業用水でありながらも、冬期間は流雪溝、防火用水として生活必需用水で

【答】 平成23・24年度で実施している「高齢化地域対策モデル事業」などの成果も検証しながら、

【答】 農業用として許可を受けている場合、冬期間は水路の維持流量という許可になっているものがほとんどである。

【問】 現在の流雪溝は農業用水でありながらも、冬期間は流雪溝、防火用水として生活必需用水で

【問】 現在の流雪溝は農業用水でありながらも、冬期間は流雪溝、防火用水として生活必需用水で

大学の研究室の誘致を



星野 武男 議員

答 今後の検討課題とさせていただきます

問 1 当市の豊かな自然環境と東京からの時間距離を売りにして、守門庁舎等の空き室を活用し、大学の研究室を誘致してはどうか。

2 研究室の自身は「里山の保全と森林の利活用」「自然エネルギーの利活用」「過疎対策」「まちづくり・ものづくり」「農業関係」等の中から当市にしかできないことを選定し、首都圏または、県内の大学をターゲットにしてはどうか。実現すれば、交流人口が増加し、地域の活性化にもつながると思う。

題とさせていただきます。

2 定住人口の減少が続いている状況にあつて、交流人口の拡大が地域の活性化のために重要な取り組みであると認識している。近年、友好自治体をはじめとした首都圏からの小中学校の体験学習の受入れを中心に交流人口拡大に努めている。毎年多くの受入れを行っており、地域経済の活性化に大きな成果が表れているものと考えている。

2 雪の利活用について

問 1 今後、建設予定の守門こども園(仮称)、斎場等に雪冷熱利用を考

答 1 本市では、平成22年度に「魚沼市環境配慮実践プラン」を策定し、新たなエネルギー導入に向けた取り組みを推進している。今後は、雪冷熱も含めた新エネルギー設備の導入について、費用対効果なども検証しながら、積極的に検討していきたい。

2 ダム本来の目的や機能を維持させることを考えると、難しいと思われる。新規の排雪場の確保は必要と感じているが、今後、運搬距離や道路除雪等の経費を考慮した中で候補地を選定していきたい。

答 1 市内各地に所在する公共施設等の有効活用は今後の課題であると認識しており、検討課

2 春先に排雪する雪を県営広神ダムの旧鬼畑地

内に「雪ダム」として利活用してはどうか。

答 1 本市では、平成22年度に「魚沼市環境配慮実践プラン」を策定し、新たなエネルギー導入に向けた取り組みを推進している。今後は、雪冷熱も含めた新エネルギー設備の導入について、費用対効果なども検証しながら、積極的に検討していきたい。

2 ダム本来の目的や機能を維持させることを考えると、難しいと思われる。新規の排雪場の確保は必要と感じているが、今後、運搬距離や道路除雪等の経費を考慮した中で候補地を選定していきたい。

前年度10%以上予算縮減で市民にしわ寄せはないか



大屋 角政 議員

答 しわ寄せが極力出ないよう進めていきたい

問 平成25年度予算編成方針で「スクラップ・アンド・ビルド方式による事業見直しを英断を持って行うとともに、前年度当初予算比マイナス10%以上とする」としているが、市民生活にしわ寄せはないのか。また、古いものは壊し、新しいものをつくるという考えは、地域にとつてよりどころとなる施設や、なくしては困る施設もある中で、こうしたものも壊す考えか。

答 事業費の縮減については、一律10%ということではなく、削減できるところを選択しながら進めるとともに、事業間のやり取りや工夫の中で、社会的弱者への配慮等をしながら市民生活へのしわ寄せが極力出ないよう、進めていきたいと考えている。

のやり取りや工夫の中で、社会的弱者への配慮等をしながら市民生活へのしわ寄せが極力出ないよう、進めていきたいと考えている。

答 このたびの選挙戦においては、多くの皆さまから支持をいただいたが、次点の候補者とわずか600票たらずの差であったという現実を「ひとつの課題」として受け止めているところである。今後は、対話による相互理解を基本として、市民をはじめ関係各位の意見を拝聴しながら努めていきたい。

問 「重く受け止めなければならぬ課題については、深く胸に刻んでおります」と挨拶しているが、この課題は何か。また、どのように解決を進めるとともに、事業間

答 事業費の縮減については、一律10%ということではなく、削減できるところを選択しながら進めるとともに、事業間

問 「重く受け止めなければならぬ課題については、深く胸に刻んでおります」と挨拶しているが、この課題は何か。また、どのように解決を進めるとともに、事業間

答 事業費の縮減については、一律10%ということではなく、削減できるところを選択しながら進めるとともに、事業間

一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

「かたつきり」を美術館にしてはどうか



住安 孝夫 議員

【答】 今後の検討課題として受け止めている

ふたたび、子ども医療費助成について 地域医療については県は無責任

【問】 小出インター近くの「かたつきり」を常設の美術館にして、地元画家などの作品を展示しては、という市民の意見がある。私もそれは良い案だと思うが、実行に移す考えはないか。

【問】 県内市町村の取り組みはその後さらに進んで、30市町村中、入院については23、通院については18の市町村が、中学卒業までのすべての子どもに対して助成することに踏みきっている。

【問】 県立小出病院の土地、建物を魚沼市に無償譲渡することに県が難色を示している。県の方針に唯々諾々と従ってきた歴代市町村長の責任もあるのではないか。

【答】 総合ビクターセンター「かたつきり」の再開に向けての取り組みについては、現状の機能を活かすことを基本に、施設の再開を目指しており、12月10日に指定管理者の募集を開始した。

【答】 安心して子どもを産み育てる環境を整備するためには重要な視点であり、中学校卒業までの子ども全員を、医療費助成の対象とすることで検討を進めている。

【答】 魚沼地域における医療再編の取り組みは、医師不足や医師の偏在を解消するとともに、高度救急医療をはじめ、高度先進医療、地域医療など地域にとって安全安心の砦として、その提供体制を構築するため、対等の立場で協議を進めてきたと考えている。

【答】 総合ビクターセンター「かたつきり」の再開に向けての取り組みについては、現状の機能を活かすことを基本に、施設の再開を目指しており、12月10日に指定管理者の募集を開始した。

【答】 安心して子どもを産み育てる環境を整備するためには重要な視点であり、中学校卒業までの子ども全員を、医療費助成の対象とすることで検討を進めている。

【答】 魚沼地域における医療再編の取り組みは、医師不足や医師の偏在を解消するとともに、高度救急医療をはじめ、高度先進医療、地域医療など地域にとって安全安心の砦として、その提供体制を構築するため、対等の立場で協議を進めてきたと考えている。

給与体制の見直し削減に切り込む考えはあるか



佐藤 肇 議員

【答】 現時点では現状維持で考えている

【問】 10年間の合併特例期間が間もなく終了し、平成27年度から交付税も減り始める。一方、合併から8年が経過した現在もなお、新市建設計画のほとんどが未了の状態にある。

【問】 1 行政庁舎の統廃合について、市長は新庁舎をつくらないとしているが、今以上に大幅な行政事務の効率化が図れるのか問う。

【答】 1 行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るため、今年4月に庁舎機能の見直しと組織機構改革を大規模に実施した。基本的には、今ある庁舎を利用しながら行政機能を段階的に集約していくことが当面の立場であり、この考え方に基づき事務の効率化を進めていく。

【問】 2 一般財源枠を10%減としていたが、市民サービスの後退や新たな負担を求めることになるのではないかと問う。

【答】 2 市民生活へのしわ寄せが極力出ないように進めていく。

【問】 3 市長は経費削減に聖域は設けないと述べているが、最大の支出項目は職員人件費である。給与体制の見直し、各種手当の削減に切り込む考えはあるか。また、職員組合に対し、給与の自主削減を求めるのか問う。

【答】 3 平成19年度から平成21年度の間、一般職員を

対象に一律、期末手当0・55月分の自主削減を行い、平成19年度から平成22年度では、管理職手当を10%削減した。また、平成22年度以降、管理職の期末手当0・3月分の削減を続けている。

市長選挙の総括を問う



森山 英敏 議員

答 厳しい選挙だったと実感している

問 まれにみる僅差であり、イメージ選挙との分析がされている。また、得票率も47・78%と過半数に達しなかったが再選された。具体的に建設的な政策論争がなかったためと考えるが、どんな総括をしているか。

答 票数を見ると厳しい選挙だったということを実感している。

また、反省点として、市民の皆さんへの説明が足らなかった。改革をスピード感を持って進めるためには、議会や地域の皆さんからの賛同を得られない限りスピード感がなかなか出てこないことも実感している。これから様々な場面をとらえて、精一杯市民への説明会も含めてやっていく。

問 『農業・林業を振興させながら、観光・消費・雇用を拡大させる』『緑の分権改革』に取り組み、また、地域産業の技術力、生産力を集結し雇用機会を増やし、合併本来のスケールメリットを生かす」と公約していた。その後、具体策が示されていないがどうか。

答 「緑の分権改革」については、放置され荒廃した森林資源の保全、豊富な森林資源の利活用に向け、魚沼杉の確立と林業の6次産業化を目指した取り組みを進めている。今年度は、森林の荒廃防止と地元産木材の供給体制の確立を図るため、私有林の間伐に着手した。また、今後整備が予定されている公共建築物に対

する地元産木材の活用や、高付加価値化と新たな木工製品への開発など、木材の消費推進についても取り進むこととしている。併せて地元産材の安定供給と流通体制の構築に向けて、現在、関係機関等と協議を進めている。地域産業の活性化と雇用の拡大については、地元企業が持つ生産技術やノウハウ、市場などを共有しながら、共同研究、共同開発による生産性や受注機会を向上させ、雇用の場の確保と拡大につなげていきたい。具体的な施策については、企業の新商品開発や販売促進活動及び研修への支援などを考えている。

有機センターの利用状況は



佐藤 敏雄 議員

答 平成24年度は2,400トンを見込んでいます

問 1 現在の利用状況は、どうなっているのか。
2 米の有利販売について、農協と協議をしているか。
3 有機センター利用の改善点は何か。

答 1 販売初年度の平成22年度の販売量は約2,000トンであった。平成24年度は20%増の2,400トンを見込んでいます。
2 JA北魚沼に任せているのが現状である。
3 水田散布については稲刈り後に集中するため、耕作者の希望に沿えない部分がある。JA北魚沼や生産組合と更に緊密な連携をとり、希望にかなうよう努力したい。

問 1 小学校及び中学校の規模について、理想は

2 どのくらいと考えているか。
3 魚沼市の学区再編の進展状況と今後の計画はどうか。
4 子ども課を教育委員会に統合し、具体的に改善向上した点は何か。
5 保育園における小学校入学後を意識した教育については、具体的にどのような取り組みがなされているか。
6 今後の幼稚園、保育園と小学校の連携や一貫した発達支援について、どのように展望しているか。

答 1 小学校は通学対策や地域との連携を最優先に考え、可能な限り現状を維持したい。中学校は、2つ以上の小学校が中学校で合流する規模を理想としている。
2 子育てビジョンとの整合性を図りながら、急激な少子化の進展に対応した見直しを行い、今後成案化に向け協議を進めたい。
3 「幼稚園と保育園」「放

1 小学校は通学対策や地域との連携を最優先に考え、可能な限り現状を維持したい。中学校は、2つ以上の小学校が中学校で合流する規模を理想としている。
2 子育てビジョンとの整合性を図りながら、急激な少子化の進展に対応した見直しを行い、今後成案化に向け協議を進めたい。
3 「幼稚園と保育園」「放

課後子ども教室と放課後児童クラブ」など、今まで連携を欠いた事業や類似事業の一元管理による事務効率の向上や、「小学校と放課後児童クラブ」など、関連業務間の連携強化を図ることができた。
4 家庭や地域と協力しながら、楽しくあたたかい雰囲気の中で、子どもの心理を尊重し、明るくのびのびとした子どもを育てることを目指している。その中で、基本的な生活習慣を身につかせ、学ぶことへの関心を持たせるような工夫をするなどの取り組みを行っている。

5 学校職員の保育体験や保育士の授業参観など、相互に連携を図り、交流や意見交換の機会を設けながら、できることからの実践を積み重ね、発達支援の充実につなげていきたい。

一般質問 (通告順)

一般質問 (通告順)

「カイゼンアクションプラン」を問う



下村 浩延 議員

【答】 職員の意識改革を主眼に置いて策定した

【問】 人材育成と事務効率化による行政サービスの向上を目的としての庁舎内の文書だが、職員個人の思考・意識・実践まかせに思われ、市役所全体が一体となつての改革・改善への取り組みが見えてこない。

一人が魚沼市の発展、住民サービスの向上に向かつて喜んで働く職場環境をつくるのが市長の責務と考え、具体的な施策を問う。

【答】 「カイゼンアクションプラン」は、職員が

行動は組織改革の前提条件であると思つている。組織としての具体的な施策については、年度当初に各部署において立案する組織目標や研修計画になると考えるが、市役所の組織全体の取り組みということについては

寿和温泉問題で、職員はより一層危機感を持って業務にあたるといわれた。しかし本年度も市営住宅の家賃過剰徴収問題があった。

高い倫理観と郷土愛を持ちながら、市民や同僚から信頼される人間となるため、人材の育成を進めるとともに、綱紀粛正を徹底するために、職員の意識改革を主眼において策定したものである。

「魚沼市人材育成基本方針」に掲げているほか、職員に対する私の訓示や指示の中で、随時、啓発や喚起という形で示しているところである。

魚沼市の職員一人一人が責任感を持って、行政サービスの向上、住民サービスの向上を至上課題として職務を遂行することを期待する。職員一人

また、行政改革を円滑に進めるためには、まずもって職員の意識改革が不可欠であり、この改善



魚沼市子ども・子育て会議の設置を



渡辺 一美 議員

【答】 会議の設置を検討している

【問】 1 来年度から子育て当事者等をメンバーとする合議制機関「地方子ども・子育て会議」を新たに設置することが必要と考えるがどうか。

2 新たな制度への移行に向け、利用者の中には「具体的にどのような制度となるのか」「保育料はどうなるのか」などの不安の声が数多く寄せられている。利用者に対して、新たな制度についての情報を丁寧に提供するとともに、地域子育て支援拠点などの身近な場所

【答】 1 老朽化対策に 1 詳細については検討中であるが、子育て中の方にも加わっていただきたいと考えている。 2 現時点では、子育て支援センター機能の充実を図りながら、子育て相談や利用者の目線に立った支援の充実に向け、検討したいと考えている。 2 将来の財政状況も見通した中での計画策定は必要なものと考えている。 本市では、各種施設の整理・統合を最重要課題とし、それぞれ施設種類別に策定した個別計画に基づき、施設再編の取り組みを進めているところである。市の保有資産の削減を図ったうえで、それぞれ劣化診断を含めた対策や長寿命化計画などを進めるべきであると考える。

【答】 1 平成25年度において会議の設置を検討

【問】 1 劣化診断等の現状把握はどうなっているか。 2 長寿命化のための中長期的計画策定並びに推進体制の整備をする必要があると考えるがどうか。

【答】 1 劣化診断等の現状把握はどうなっているか。 2 長寿命化のための中長期的計画策定並びに推進体制の整備をする必要があると考えるがどうか。

地域資源の活用で活性化を図れ



星 吉寛 議員

答 民間企業の参入や広域対応を含めて今後の課題とする

問 働く場所がなければ若者は住めない。働く場所を確保し地域経済の活性化を図るため、農地、山林や観光資源などを生かすべき。

そのための3点について問う。

1 地場産農畜産物の販路拡大と地元商店街の活性化を図るため、小出本町商店街等に農畜産物直売所を設置すべきではないか。

2 魚沼産材の価値を高めるため自然乾燥施設の整備と間伐材などを燃料に、木質バイオマス発電に取り組みべきではないか。

3 大湯温泉に小水力発電を設置して、発電温泉街を売りに観光地の活性化を図るべきではないか。また、入湯税の50%以上は目に見える形で納付し

た地区の利用客対策や、観光振興等に充てるべきではないか。

答 **1** 商店街への「農畜産物直売所」設置については、基本的に競合する商店との調整を図ったうえで地元商店街や商工会が主体的に取り組み課題ではないかと考えている。

2 自然乾燥のサイクルを3年程度試験実施し、木材の付加価値、乾燥状況、市場状況などの調査を行うとともに、施設整備に向けて関係機関等との連携を図りながら、建設予定地、施設規模、運営体制、供給体制等の検討を進めていきたい。

バイオマス発電への取り組みについては、昨年7月から「再生可能エネ

ルギーの固定価格買取制度」がスタートした。このエネルギー源には木質バイオマスも含まれており、未利用材の活用に向けて、未利用材の活用を積、設備投資へのリスクがあり、実施主体への民間企業の参入や広域対応を含めて今後の課題とさせていただく。

3 魚沼市においても地元企業と連携して、小規模な小水力発電実証試験の取り組みを行っている。提案された取り組みについては、地元の熱意を含めてその可能性を確認しながら検討する。

また、入湯税は目的税であり、その趣旨目的に沿って環境衛生、観光振興等の事業財源として適切な執行に努めていきたい。

行財政改革と地域力再生のため「地域コミュニティ税」の導入を



遠藤 徳一 議員

答 新たな税を創設することは考えていない

問 **1** 市の上位計画であるコミュニティ協議会を立ち上げ、行政依存体の解消を図り地域の自立を支援し市の受け皿づくりをすべきと思うが。

2 「地域コミュニティ税」を導入し、自分達で出し合った税金を地域で知恵や汗を出し合いながら使える仕組みが必要と思うが。

3 地域コミュニティ協議会と中心市街地商店街コミュニティが連携を深め、ニーズを掘り起こせば、以前の活気ある商店街が復活でき、高額納税地区の再生ができると思うが。

動を基本とし、その内容に制限や義務はない。権限と財源の移譲のあり方については、市内における地域コミュニティ協議会の普及状況、組織の成熟度を見極めながら付与する必要があり、今後の検討課題と考えている。

2 基本的に、コミュニティ活動を助長し、支援するため、新たな税を創設することは考えていない。活動財源が不足する場合は、地域通貨やコミュニティビジネスなどの取り組みもその方策のひとつと考えている。

3 地域コミュニティ協議会の対象地区の範囲や組織体制、事業内容に制限はない。商店街に活気とにぎわいを取り戻すためには、商店主や営業さ

れていない方々も相互に組織化することにより、利益を享受できるか否かにかかっているものと思われる。

子育てビジョン（案）について

問 地域ぐるみで子育てを考えた場合、まずは市民意識の改革とハードの支援も含めたビジョンが重要だが、現時点では明確に示されていない。どのように成案づくりをするのか。

答 トーク集会や説明会、ホームページなどで意見をいただき、策定委員会での意見交換や議論を行い、成案化に向けて進めていきたい。

一般質問 (通告順)

総務文教委員会報告

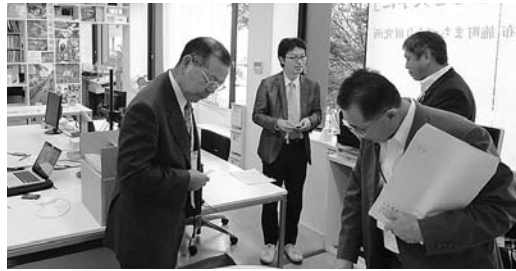
10月11日・12日

長野県内での行政視察

1 実践的住民自治の村づくりについて（栄村）

を結び、官学の連携を図ることによりまちおこしを住民と一緒に進めて行っていた。

栄村は人口約2千人の村で、村独自の事業として「田直し事業」「道直し事業」「雪害対策」などトップマネジメントによる企画力・行動力で住民目線のきめ細やかサービスで村づくりを行っていた。「田直し事業」は平成元年から実施されており、当初の1,454枚から平成21年度末時点で526枚にまで水田の枚数が整備された。



東京理科大学・小布施町まちづくり研究所

3 高森中学校校舎の内装木質化等について（高森町）

2 行政と大学・研究所の連携について（小布施町）
小布施町では、東京理科大学、信州大学、法政大学の3つの大学と研究所等の設置に関する協定

高森町では町内の小中学校で長野県産のヒノキ材や根羽スギなど、地域の木材を多く使用して校舎の内装木質化に取り組んでいた。今回視察した

中学校は平成24年12月の完成に向けて建設工事中であった。



高森町立高森中学校

建築に至るまでの経過として、完全木造化も視野に入れ、当町でも木造校舎の視察を行ったが、コスト面や火災時の生徒の避難時間などを考慮して、内装を木質化するにとどめた旨説明があり、

当市で建設する場合には完全木造という選択は避けた方がよいのではないかとの見解も合わせて伺った。また、住民、教員、設計業者など1,000

人程度と話し合いの場合を持ち、基本設計に入るまでに3年ほどかけたとのことであった。

12月17日

1 請願第9号

郵便局の効率化施策に関する請願書

問 小規模郵便局の窓口営業を、半日とか隔日に縮小するという施策は、実際に実施されそうなのか。

紹介議員答

平成25年3月末までに全国100局程度で試行するよう協議中と聞いている。

2 請願第11号

魚沼市職員給与の改定を求める請願書

問 給与は労働条件であると認識しているが、労働条件は使用者と労働者と対等な立場で決定すべきことが労働基準法の大前提であるが、議会として市当局に働きかけてほ

しい、とは具体的にどのようなか。紹介議員答 考慮を求めるといふことで、法律的な縛りは意味していない。

職員組合と執行部の話し合いは当然必要と思う。

問 借金は140億円減らし、貯金を30億円増やして財政健全化が進んだ魚沼市でなぜ職員給与の削減をしなければならないのか。

紹介議員答 魚沼市では給与の官民格差は歴然としている。市長など幹部だけでなく一般職員の給与削減も実施すべきだ。

3 議案第131号

市有財産の処分について（竜光区民会館）

問 建設当時の建設費は、総事業費6,432万円、補助金が国県合わせて4,180万円、残りが当時の堀之内町の負担で、地元負担はなかったと思う。

問 指定管理者の指定について（堀之内体育館）

問 指定管理に出してもこれまでの管理体制が維持されるのか。サービス低下はないのか。

答 実績のある団体なので、その心配はない。歳出の面では効率化が期待できる。

問 管理をまかされた団体が優先的に使って、他の利用者が排除されるような心配はないか。

答 その心配はない。仕

直接の維持管理につ

様書に公平性の確保が明記してある。

問 本件の指定業者は市外の業者を含む三者による協同企業体だが、地元業者が望ましいのではないか。

答 市内業者を基本とすべきだと思うが、今回は経験のある企業の力も借りたいと考えた。

問 5 消防庁舎建設について

答 購入土の分は増額になると思う。

問 6 井口小学校の改築について

答 土地の調達はどうか。まだ承諾を得られない地権者があり、測量までの了解は得ているが、まだ今後の交渉が必要である。

問 7 いじめ問題の緊急調査について

答 魚沼市の調査結果は11月にずれ込んだこと、大きな玉石が多かったことで、ある程度購入土も利用することになった。上条出張所については、大雪の影響で予定より1カ月くらい遅れているが、

9月の竣工に支障がないようにしたいと報告を受けている。

12月17日

1 議案第123号

魚沼市大白川へき地診療所廃止について

問 地域のよりどころとなる診療所なのだから、何とか維持できないか。

答 現施設は老朽化が進み、取り壊しを考えている。利用者に不便をかけるよう、今後は巡回診療で対応したい。

問 へき地診療所を廃止する理由を聞きたい。

答 診療所の設置基準上、待合室、診療室、調剤室等の設置が必要であり、大白川地内に適地がない。

問 巡回診療となると、行政の都合でいつでもやめられるということか。

答 地域での医療サービスの変更となれば、説明が必要と認識している。

2 議案第124号



巡回診療を行う三世代交流ホーム

(12月27日に再度審査を行うこととした。)

福祉環境委員会報告

答 重要なことと受け止めている。ケアマネジャーと情報交換しながら支援策を検討したい。

問 3 堀之内子育て支援センター移転について

再編取り壊しの提案があつたが、地元合意が十分でない。堀之内地域に子育て支援センターを残してほしい。現施設を地域の拠点として利用したいとの要望がある。

答 現施設は一部が借地であり、老朽化も進んでいるので将来的には取り壊したいと考えている。堀之内公民館を利用することを提案している。今後、再度話し合いを進めていく。

問 4 魚沼市子育てビジョン(案)について

家庭で育児する親を孤立させないために、情報交換や悩み相談の場となる子育て支援センター

を、各旧町村単位ぐらいに設置する必要があるのではないか。

答 各公立保育園を利用するなど、場所の提供や相談体制の充実を考える必要がある。

問 5 LED照明導入について

魚沼市LED照明導入指針が示され、公共施設に率先してLED照明を導入するものとし、自治会や団体等が管理している防犯灯や商店街路路灯、アーケード照明、道路照明等についても普及を促進する。

1 議案第123号

12月27日

市当局が12月19日に地元住民へ説明を行い、理解が得られたことが確認されたため、本件については原案のとおり可決すべきものと決定した。

産業建設委員会報告

12月18日

1 請願第10号

直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する請願書

請願の趣旨

公共施設を健全に保ち、災害による被害を未然に防ぐための維持管理を行う公共事業費の予算確保と災害復旧や復興への備えとして地元建設業と建設労働者の育成を行う中越地区を管轄する信濃川河川事務所、長岡国道事務所、湯沢砂防事務所や各出張所の存在を求めるもの。

この請願が政権交代により背景が変化する見込みはないのか。

紹介議員答

少しは明るい方向が公約にはあったが、継続して運動したい。

建設業の疲弊により、災害や除雪などで支障が

出る恐れがあるのか。

紹介議員答

公共事業費の削減により、人員・機械の削減が続いている。また労務者の高齢化も進んで、非常に厳しい現状である。

2 議案第127号 魚沼市ガス供給条例の一部改正について

補足説明

輸入原料ガスの値上がりと原料費調整制度の基準月の変更による料金改正で1立方メートルあたり11円90銭の値上げとなる。

家庭用温水暖房契約を新設したが、どのような周知をするのか。

答

広報誌と建築業者を重点にPRしたい。

3 議案第133号 損害賠償の額を定めることについて

補足説明

新潟・福島豪雨災害の復旧工事により、

大湯簡易水道に濁り水が入り損害を与えたことに對し、損害賠償を行うもので件数で21件、総額で111万9,713円である。

問

どうして事故が発生したのか。

答

2日間工事をしていなかったことで、確認せずに取水したことによる。

問

損害額に大きな差があるが。

答

額の少ないものは一般家庭で飲料水の料金等であり、大きなものはホテル等の受水槽の清掃などに多額の費用が発生した。

4 新潟・福島豪雨災害復旧工事の進捗状況について

浅草岳への道路や登山道はどうか。

答

発注は済んでいるが、県道の復旧が遅れ、手が回らなかった。雪消えを待って早期に復旧したい。

6 大雪被害について

問

12月としては記録的な大雪だが、対応に問題なかったのか。

答

最初の3日間は、重い雪が連続して降り、機械除雪が困難を極めた。また、地下水位の低下により、消雪パイプ路線でも通行不能が発生した。その後の天候の回復もあり除雪作業は順調に進んだ。地下水位も回復して問題のないレベルとなった。

ルールがある。平成25年度になんとかしたい。

5 文京区魚沼移動教室の実施について

文京区の全小学校、約1,200人が今春から、尾瀬を中心として、3泊4日でもらえることになった。

問

宿泊等はどこを予定するのか。

答

奥只見丸山スキー場の「緑の学園」を予定している。

地域医療対策調査特別委員会報告

10月15日・11月28日

1 新病院設計内容及び変更箇所についての質疑

新築棟2階に人工透析24床を置くようだが、県との調整はついているのか。

問

現在小出病院では、障がい者用のおむつ替えの場所がないが考えているか。

答

車椅子対応トイレにその場所を設ける。

現在小出病院でも24床あるが良い環境ではないため、新築棟2階に移したい。透析機材は県から譲渡を受けたい。

問

新築棟3階の手術室とは、どのような物か。

答

当初、新病院では手術室できないと聞いていたが、一般的な手術室を考

えている。局部麻酔で行える小手術や、産科を設

問

新築棟は免震構造にするようだが、3階程度

の建物では耐震性に大差はない。免震構造は建設

答

新築棟は免震構造に

けているので、緊急時の対応で手術室が必要だ。しかし、麻酔科がないので、全身麻酔の大手術はできない。

問

現在小出病院では、障がい者用のおむつ替えの場所がないが考えているか。

答

車椅子対応トイレにその場所を設ける。

問

新築棟3階にあった健診センターをなくしたが、労働衛生医学協会との連携は続けていくのか。

答

続けていく。新病院は医療部分とし、健診センター機能は次の計画の中で考えていく。

問

新築棟は免震構造にするようだが、3階程度の建物では耐震性に大差はない。免震構造は建設

答 費が2割程度高くなる。地震の際に医療機器等が動かないかの違いがある。耐震だと医療機器が動き病院機能に影響しかねない。

2 新病院整備に対する県との協議、その他の質疑

県の見解

① 現小出病院の敷地は有償譲渡であり、約6億円の見込みである。

② 整備費等の支援は、医療再生基金から5億6,500万円が予定されている。

③ 新病院運営費の負担はできない。

④ 西病棟は魚沼市が必要とする間、無償貸与を考えている。

⑤ 不要建物の解体、測量登記、土壌汚染物調査は県の負担としたい。

問 市が県から敷地を購入するのはいつか。

答 不要建物解体、土壌

議会改革調査 特別委員会報告

12月7日

1 議会報告会について

委員 参加者が少ない。

委員 小さい単位で集会所を利用して実施したらどうか。

委員 自治会長に案内し、参加いただいた点は良かった。集落単位の実施は賛成。

委員 常任委員会の報告は省略して意見交換の時間を長くすべき。

委員 市民の意見の取り扱いを明確にしないと参加者は増えない。試行の段階でどうするか。

委員 報告会の取り組みによってどのような成果が出るか、市民は期待している。市民に見える取り組みが必要と思う。

委員 福祉環境委員会で見えを取り上げた。調査

り付け誹謗中傷する人も確保する方向でお願いしたい。

事務局 議会での対応を考

委員 報酬の問題も含め、会派等で意見をまとめたらどうか。

委員 編集した内容をどうチェックするか。

事務局 専門業者への委託が可能であれば問題ない。

委員長 議会中継については、予算要求してある。③議会基本条例の素案に

委員 自治法の改正による。

委員 議員報酬について

委員 定数減にからみ報酬及び政務活動費を上げ

委員 これからも削減が

委員 削減5%の現状でいくべき。

委員 兼職の議員を減らす。

委員 また次世代の議員のためにも2〜3割あげる

委員 24人の定数が20人

委員 向上させるためにも予算

委員 削減5%の現状でいくべき。

委員 兼職の議員を減らす。

委員 また次世代の議員のためにも2〜3割あげる

委員 24人の定数が20人

委員 向上させるためにも予算

委員 削減5%の現状でいくべき。

委員 兼職の議員を減らす。

委員 また次世代の議員のためにも2〜3割あげる

委員 24人の定数が20人

委員 向上させるためにも予算

市民の声

初夢

下折立 星 光利さん

友人、知人の勧めもあり、市議会議員に立候補を決意し選挙戦に臨んだ。定員20人に対し候補者は23人と激戦だった。

選挙結果は残念ながら最下位と3票差で敗北となった。翌日公表されたデータを見て愕然とした。投票率8%、トップ当選者の得票102票。全国から注目を浴び連日その結果が報道されている。専門家による分析では、候補者の親族、親戚、友人以外は投票行動を起こさなかった結果とのことである。

除雪機の振動と音で目覚め、夢であったことを認識し安堵と共に一笑した朝だった。

昨年は、県知事選、市

長選、市議会補選と衆議院選と正に選挙一色の年だったが、いずれの選挙も投票率の低下が問題視され、特に若者の投票離れが特出しているとの報道もある。

行かない有権者が悪いのか、行きたくなる候補者がいないのか、両方ともであろう。特に地方選挙では政党色を出さないためか具体性に欠ける抽象的な公約を訴え戦っていて、有権者からは選別したい候補者が多い。

例えば、任期中に市への税収を5%増やします、市の人口を500人増加します、等々具体的な約束を掲げ立候補して欲しいものです。

『人と四季がかがやく雪のくに』真に人々が輝ける魚沼市づくりを第一

義に掲げる議会運営を期待したい。

投票率8%夢が正夢にならないことを願う一人です。

只見線の早期復旧を

大板山 六沢進作さん

只見線小出―大白川間が開通して70年を迎えました。高校生の時はまだ蒸気機関車で、小出の同級生や先生にまで僻地線とからかわれていました。

国鉄民営化で多くのローカル線が廃線になる中、関係者の努力でしぶとく生き残っています。最近では日本一紅葉の美しいローカル線に選ばれ、写真誌に載ることもしばしばです。「撮り鉄」といわれるマニアの人たちはどこで調べるのか、ラッセル車の通過時間まで知っている所々でカメラを構える姿が見られます。線路に入り込み、駐在さん

議会を傍聴してみませんか



に注意される人も。あの人たちがどれくらい地元に貢献してくれているかわかりませんが、魚沼市と只見線の名を広めてくれていることは確かかなようです。残念ながら水害のため不通区間がありま

「市民の声」の原稿を募集します

- 字数3000字程度
- タイトル
- 住所・氏名
- 顔写真を同封の上お寄せください。

(顔写真の掲載を希望されない場合は不要です) 送付先

魚沼市議会事務局
(魚沼市今泉 1488番地1)

市議会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。

定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。

このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。

日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

あ と が き

「吐く」から「叶う」へ「吐く」という言葉があります。「吐く」は口と十と一という文字でできています。つまり、誰でも口からプラスや、マイナスのことを言葉で発することが、「吐く」になるということです。でも、マイナスなことを言わなければ、いずれ(一)が取れて、「叶う」になるというのです。

私は「なるほど」と感じました。

この言葉から、私達は日頃の心構えの大切さを学びます。

魚沼市政はいかがでしょうか。議会でも、「吐く」場面は多々あると思います。しかし、市民の皆さまと一丸となり、プラス方向に向かって取り組めば、きっと「叶う」...より良い魚沼市政に繋がると思います。

今年魚沼市も市民の皆様も「叶う」一年になりますようご祈念いたします。(本田 篤)

発行／魚沼市議会 発行責任者／佐藤 守
住所／〒946-8555 新潟県魚沼市今泉1488番地1
TEL 025-7999-4602
FAX 025-7999-2250